

インフルエンザに備えましょう！

新型コロナウイルス感染症の流行が始まった 2019-2020 シーズン以降、国内でのインフルエンザの報告数が激減しました。2020-2021 シーズン以降は感染者が極めて少ない状態で推移しています。

インフルエンザの流行時期が日本と異なり 5 月～9 月頃にピークを迎える南半球のオーストラリアでは、過去 2 年間はインフルエンザの流行がなかったものの、**現在インフルエンザ感染症患者の急激な増加が報告されています**。オーストラリアでのインフルエンザの流行は、その後の日本での流行傾向を示唆するものであり、**日本でも今年の冬はインフルエンザが流行する可能性**があります。

インフルエンザに罹ると**重症化**しやすいのは、**2 歳未満の小児、65 歳以上の高齢者**、呼吸器系・心臓血管系・腎臓系・肝臓系・血液疾患・糖尿病・神経筋疾患などの**慢性疾患を有する者**、**免疫不全者**（免疫抑制剤使用、HIV 等を含む）、**妊娠中・出産 2 週間以内の女性**、**19 歳未満でアスピリン長期使用者**、**著明な肥満（BMI>40）**、**介護施設や慢性期病棟の入所者**が挙げられており、ワクチン接種が推奨されます。WHO の報告によると、オーストラリアだけでなく、南半球諸国においてもインフルエンザは例年よりも増加傾向であるので、我が国でも標準予防策の継続に加えて、**ワクチン接種を推奨**することが大切です。